



【2017-04-19】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう

今週の雑感

『桜の季節と鳥たちのにぎわい』

長野修二

桜の季節と鳥たちのにぎわい

桜が咲く季節は人間にとっても心がうきうきする季節ですが、鳥たちにとっても寒い冬が去り、暖かな気候とともに美味しい花の蜜を食することができる豊かな恵みの季節でもあります。

人間同様に、鳥たちも桜のつぼみの間をいそがしく飛び回ります。

しかも、桜の季節には、鳥たちは人間のまじかまで近づいてきてくれるので、鳥好きな人間にはたまらない季節でもあります。

近隣の公園を訪れると、桜はまだ咲いていませんでしたが、桜のつぼみはかなり膨らんでいて、そのつぼみの間を飛び回る様子がとてもかわいらしいのも桜の季節の特徴でしょうか。

私たちが訪れたときには、ある桜の木の枝が気に入っているのか、メジロ、シジュウカラ、エナガが頻繁に飛び回っていました。

歩いている人達が近づくと、少し離れた木に移りますが、人が離れればすぐに気に入った枝にもどってきます。



[メジロ](#)はこの季節の特徴的な鳥なので桜の花が咲く季節にはどこでも見ることができる鳥です。

我が家の巣箱で子育てをしたことがある[シジュウカラ](#)が桜のつぼみに集まることは知りませんでした。

この鳥も比較的よく見ることができる鳥ですが、どちらからかといえば、群れで高い木々の間を飛んでいる様子や子育て時期になると人が多い庭などでしばしばみかけることができます。

子育ての時期における人間は重要なガードマンらしく、人のそばに寄り添って生活をしています。

これまでまじかに見たことがない[エナガ](#)もメジロやシジュウカラ同様、つぼみをつつきながらいそがしく飛び回っていて、なかでもこの鳥は枝に逆さになって止まる様子は愛らしいものです。

公園の高台へ登れば、高い木々のてっぺんで[アオジ](#)が鳴いており、集団生活を離れているようなので繁殖時期になっているのかもわかりません。

冬は近くの田んぼに集団で飛来して食事をしている様子がみとれます。



この公園から少し離れたダム湖へ行けば、渡りの途中で休んでいる水鳥たちがいます。



まず群れで休んでいる[キンクロハジロ](#)を見ることができます。

その他、見間違いかも知れませんが、[ウミアイサ](#)が一羽いたようでした。

この鳥は一旦潜水すると長く潜っているのでどこにでてくるのかわからなくなり、観察するのがなかなか大変です。



もっとも、[モズ](#)のように1年中身近でよく観察できる鳥もいます。

この鳥は単独で行動していることが多く、低い木の枝にとまり地面を眺めながら捕食する虫などを狙っているようです。

尾をくるくる回しながら比較的長い時間枝にとまっていてくれますからじっくりと観察できますし、素人でも簡単に写真が撮れるかわいらしい存在でしょうか。



桜の季節は気候もよくなり、桜をはじめ植物や木々の花を楽しめるようになりますが、わずかばかり違うところへ目をやればみじかに鳥たちのにぎわいを楽しめる季節でもあります。